

同時発表：スポーツ庁
観光庁

平成 29 年 3 月 10 日

「スポーツ文化ツーリズム国際シンポジウム」を初開催

～「スポーツ文化ツーリズムアワード 2016」大賞決定～

スポーツ庁、文化庁、観光庁では、スポーツや文化芸術資源の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日観光客の増加や国内観光の活性化を図るための取組を、「スポーツ文化ツーリズム」として三庁の政策連携において推進しています。

今後、本取組が各地において定着し、2020年までに訪日外国人4,000万人という政府目標に寄与するような魅力あるコンテンツを生み出すべく、「スポーツ文化ツーリズム」をテーマとした国際シンポジウムを3月16日に初開催いたします。本シンポジウムにおいては、「スポーツ文化ツーリズムアワード 2016」表彰式も同時開催し、同アワードの大賞等に選ばれた団体に対して、三庁の長官が表彰を行います。

1. 「スポーツ文化ツーリズムアワード 2016」受賞団体

○大賞「サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」を核としたサイクルツーリズム」

(瀬戸内しまなみ海道振興協議会)

○スポーツ庁長官賞「世界遺産姫路城マラソン」(兵庫県姫路市)

○文化庁長官賞 「スポーツ流鏝馬大会」(青森県十和田市)

《参考：スポーツ文化ツーリズムアワード 2016》

○スポーツと文化資源を組み合わせた地域の取組で、国内外の観光客の増加、長期滞在を促す仕組みや地域への経済効果波及につながる工夫があるものについて募集を行い、平成 28 年 9 月に 10 選を選定。有識者等の意見を踏まえつつ、今回、10 選の中から大賞等を決定。

○募集期間 平成 28 年 7 月 12 日 (火) ～8 月 12 日 (金)

募集結果 総数/44 件

2. 「スポーツ文化ツーリズム 国際シンポジウム」開催概要

日時：平成29年3月16日(木) 13:30～18:00

会場：スパイラルホール(東京・青山/スパイラル3F)

東京都港区南青山5-6-23 3階

※取材希望の方は別紙「取材申込書」にてFAX又はメールにてお申込みください。

※シンポジウムの詳細については別添チラシを御覧ください。

【取材申し込み先】スポーツ文化ツーリズム国際シンポジウムPR事務局
FAX: 03-3406-5599
Email: frontier-pr@frontier-i.co.jp**【参加申し込み・問合せ先】**スポーツ文化ツーリズム国際シンポジウム運営事務局
Email: sympo@frontier-i.co.jp**【問合せ先】**

文化庁長官官房政策課

加々美, 井上

電話: 03-5253-4111 (代表)

(内線 3106)

03-6734-2806 (直通)



スポーツ文化ツーリズム 国際シンポジウム

～スポーツ文化ツーリズムアワード2016表彰式～

スポーツ庁、文化庁、観光庁では、スポーツや文化芸術資源の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日観光客の増加や国内観光の活性化を図るための取組について、「スポーツ文化ツーリズム」として3庁の政策連携において推進しています。

この度、「スポーツ文化ツーリズム」が各地において定着し、2020年までに訪日外国人4,000万人という政府目標に寄与するような魅力あるコンテンツを生み出すべく、「スポーツ文化ツーリズム」をテーマとした国際シンポジウムを開催いたします。

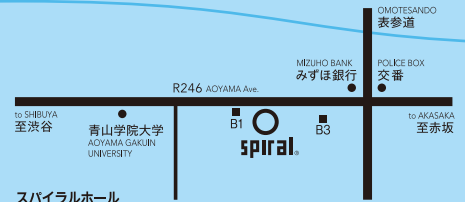
日時: 2017年3月16日(木) 13:30~18:00
(受付13:00~、ワークショップ16:30~18:00)

会場: スパイラルホール (東京・青山/スパイラル3F)

定員: 150名 (シンポジウム) **20名** (ワークショップ)

※ワークショップは、定員に達しましたため、お申し込み受付は終了いたしました。

入場料無料、申込み先着 ※お申し込み詳細は、裏面をご確認ください。



スパイラルホール
〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23 スパイラル3F
Tel.03-3498-5936 (会場直通・当日のみ)
地下鉄表参道駅(銀座線・半蔵門線・千代田線)
■ B1.B3出口すぐ

基調講演

スポーツ文化ツーリズムの
いまと今後の展望

一般社団法人
日本スポーツツーリズム
推進機構 会長
(早稲田大学スポーツ
科学学術院教授)

原田 宗彦 氏



クロストークセッション

海外から見た、日本のスポーツ文化ツーリズム
スポーツ・文化・観光の融合と、地域の可能性

(コーディネーター) 原田宗彦氏



一般社団法人みなかみ町観光協合理事
(株式会社キャニオンズ 代表取締役社長)
マイク・ハリス 氏



サンマリノ共和国
駐日特命全権大使
マンリオ・カデロ 氏



インバウンドビジネスプロデューサー
(株式会社ランドリーム 代表)
原田 静織 氏



東京藝術大学教授(「3331 Arts
Chiyoda」統括ディレクター)
中村 政人 氏

スポーツ文化ツーリズム2016表彰式

「スポーツ文化ツーリズムアワード2016」
10選の中から、大賞・長官賞を3庁の長官が
表彰します。

プレゼンター



スポーツ庁長官
鈴木 大地



文化庁長官
宮田 亮平



観光庁長官
田村 明比古

原田 宗彦氏 /
一般社団法人
日本スポーツツーリズム
推進機構 会長
(早稲田大学スポーツ科学学
術院教授)
1954年大阪生まれ。84年ペン
シルバニア州立大学博士課程修
了。鹿屋体育大学、大阪体育大
学大学院教授などを経て、
2005年より現職。
『スポーツ都市戦略』『スポーツ
マーケティング』など著書多数。
日本スポーツマネジメント学会
会長、Jリーグ理事や、スポーツ
文化ツーリズム有識者委員会メ
ンバーも務める。

マンリオ・カデロ氏 /
サンマリノ共和国
駐日特命全権大使
イタリアのシエナ生まれ。イタ
リアで高等学校卒業後、フラン
ス・パリのソルボンヌ大学に
留学。1975年来日、東京に
移住し、ジャーナリストとして
も活躍。2002年駐日サンマリ
ノ共和国特命全権大使を任命
される。
2011年駐日大使全体の代表
となる「駐日外交団長」に就任。
『だから日本は世界から尊敬さ
れる』など、著書多数。

マイク・ハリス氏 /
一般社団法人みなかみ町
観光協会理事
(株式会社キャニオンズ
代表取締役社長)
1973年ニュージーランド生まれ。
大学在学中に初めて日本を訪
れ、谷川岳や利根川といった自然
の美しさに感銘を受ける。現在
は、「ラフティング」「キャニオン
グ」を始めとする大自然を活か
したアウトドアスポーツ事業を展
開。キャニオング・ツアーを日本
へ普及させたパイオニアとして、
業界を牽引する。また、インバウ
ンドビジネスの仕掛人として、活動
拠点である地元・群馬県みなか
み町の地域活性化にも大きく貢
献。“世界のみなかみ”を目指し、
一般社団法人みなかみ町観光
協会理事も務める。

原田 静織氏 /
インバウンドビジネス
プロデューサー
(株式会社ランドリーム 代表)
中国上海生まれ。1996年に
来日、上海外国語大学で日本
語を専攻。2001年3月、青山
学院大学卒業後、IT企業を中
心にビジネスデベロップメント
&マーケティングのポジション
を歴任。2013年9月、トリップ
アドバイザー株式会社 代表取
締役に就任。
2015年7月、インバウンドビ
ジネス支援の株式会社ランド
リームを設立。

中村 政人氏 /
東京藝術大学教授
(「3331 Arts Chiyoda」
統括ディレクター)
1963年秋田県大館市生まれ。
「社会」や「教育」における美術
の在り方を問いかけ、地域に活動
の場としくみを生み出す実践を
重ねるアーティスト。1998年よ
りアーティスト・イニシアティブ・
コマンドNを主宰。2005年、
アトスペース「KANDADA」
(神田)での活動を経て、2010
年に「3331 Arts Chiyoda」
を立ち上げる。2010年度芸術
選奨文部科学大臣新人賞(芸術
振興部門)受賞。

プログラム			
13:30	10	開会、オープニングアクト	太鼓センター/TAIKO-LAB 京都・青山、WADO実行委員会
13:40	25	基調講演	原田 宗彦氏
14:05	45	スポーツ文化ツーリズムアワード2016表彰式	・スポーツ庁長官 鈴木 大地 ・文化庁長官 宮田 亮平 ・観光庁長官 田村 明比古 ・10選団体代表者
14:50	10	休憩	
15:00	70	クロストークセッション	(コーディネーター) 原田 宗彦氏 (パネリスト) マイク・ハリス氏、マンリオ・カデロ氏、原田 静織氏、中村 政人氏
16:10	20	交流会	
16:30	90	スポーツ文化ツーリズム (ワークショップ)	
18:00		閉会	

ワークショップ

「スポーツ文化ツーリズムで、地域を活性化する。」をテーマに、「あわ阿波おどり2016(WADO実行委員会)」、「沖縄海人スピリッツ!!(糸満市観光協会)」を題材として、ワークショップを実施いたします。
地域のスポーツ文化ツーリズムコンテンツを、ワークショップを通じて、さらに魅力的にしていこうことを目指します。
お申し込みご希望の方は、どちらかの題材で、国内・海外への観光向けのツアー企画、PRアイデア、文化/スポーツ/観光の融合についてなどのアイデアを当日お持ちいただき、ワークショップにご参加ください。

あわ阿波おどり2016
~World Awa Dance Open~
WADO実行委員会

沖縄海人スピリッツ!!
いとまん帆掛(ふーかき)サバニ乗船体験
糸満市観光協会



お申し込み・お問い合わせ
スポーツ文化ツーリズム国際シンポジウム運営事務局 mail:sympo@frontier-i.co.jp

本シンポジウムは、事前登録制(メールのみ)となっております。お申し込みメールアドレスまで、下記情報をメール本文で記載いただき、メールにてお申し込みください。
■お申し込み基本情報
・氏名、・団体又は企業名、・所属又は職名、・住所又は所在、・連絡先メール(Email)、・連絡先電話番号(TEL)
・ワークショップは、定員に達しましたため、お申し込み受付は終了いたしました。
※お申し込み・お問い合わせに関しましては、メール受信後2~3日(土日除く)でご返信させていただきます。万が一、返信等がない場合は、改めてお問い合わせください。

取材申込書

【「スポーツ文化ツーリズム国際シンポジウム」PR事務局】 行き

FAX: 03-3406-5599 / E-mail : frontier-pr@frontier-i.co.jp

※誠にお手数ではございますが、取材をご希望の場合は、3月15日(水)17:00 までに
上記FAX 番号かメールアドレスへご返信下さいますようお願い申し上げます。

- 日時 : 2017年3月16日(木)13:30~18:00(予定)
 - ★表彰式: 14:00~(予定)
 - ★報道受付: 13:00~
- 会場 : スパイラルホール(東京・青山/スパイラル3F、
東京都港区南青山5-6-23)



地下鉄表参道駅(銀座線・千代田線・半蔵門線) ■ B1. B3出口すぐ
Omote-sando Sta. (Ginza-line, Chiyoda-line, Hanzomon-line) B1. B3 Exit
※主催者による駐車券のご用意はございません。
予めご了承ください。

●開始予定時間	●プログラム	●ご出欠 ※ご取材予定プログラムに○をお付けください
13:35~(25分)	基調講演	
14:00~(50分)	スポーツ文化ツーリズムアワード2016表彰式	
15:00~(70分)	クロストークセッション	
16:10~(20分)	交流会/会場転換	
16:30~(90分)	ワークショップ	
○御紙誌名/御番組名		
○御社名		
○御部署名		
○取材代表者名		(合計: 名)
○取材者人数内訳	ペン 計: 名	
	カメラ 計: 名	ENGクルー 計: 名
○取材代表者 TEL / FAX	/	
○携帯番号	差し支えなければご記入ください	

※ご記入いただきましたご連絡先等は、本事業に関わるもののみ使用し、他の目的には一切使用いたしません。

＜本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先＞ 「スポーツ文化ツーリズム国際シンポジウム」PR事務局
TEL: 03-5778-4844 / FAX: 03-3406-5599 / Mail: frontier-pr@frontier-i.co.jp / 担当: 松本・千葉



スポーツ文化ツーリズムアワード2016【10選】

1次選定(入選)結果発表

01 スポーツ流鏝馬大会

申請団体:青森県十和田市

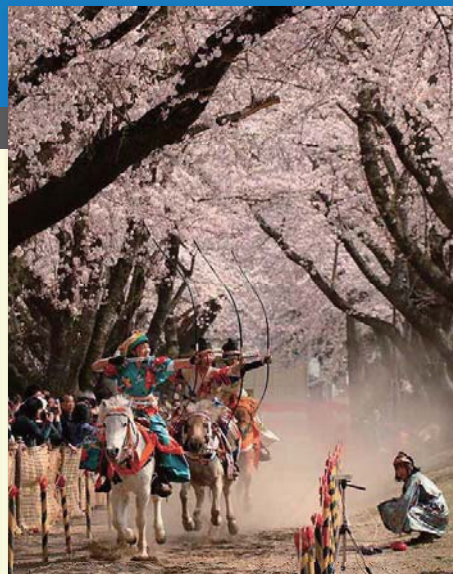
北海道・東北ブロック

取組概要

- 「乗馬」と「弓道」の両方の技術を要する日本古来の神事である「流鏝馬」をスポーツ競技化。春季から秋季にかけて、十和田市をはじめ、東北地方の複数個所で大会開催。また、初心者から気軽に楽しむことが出来るよう、「流鏝馬体験プログラム」を実施。
- インパウンド受け入れのため、県内大学の留学生を対象としたモニターツアーを実施。

評価ポイント

- 「乗馬競技」は世界各地で行われており、今後の発展に期待が出来る。
- 大会開催が四季をまたぎ、長期滞在が見込まれる。
- 体験プログラムの実施など乗馬・流鏝馬人口の拡大を図っている。



02 東北風土マラソン&フェスティバル

申請団体:東北風土マラソン&フェスティバル実行委員会

北海道・東北ブロック

取組概要

- 「マラソン大会」と「食」や「日本酒」のフェスティバルを複数同時開催。大手旅行会社2社と連携し、大会前後を含めたツアーを手配。ファンランとして有名なフランス・メドックマラソンと公式企画協力。
- ランナー4,300人、来場者37,500人、経済波及効果2億円以上。大会ウェブサイトの10%強は海外からのアクセス。

評価ポイント

- 旅行会社と連携したツアー造成・手配を行っている。
- メドックマラソンとの企画協力を活かし、インパウンド促進につなげている。
- 参加者一人あたりの支出額等を調査し、経済波及効果を分析・蓄積している。



03 J2水戸ホーリーホック

ベトナムからの観戦・応援ツアー、ベトナムメディアによる日本の観光地・文化の発信

申請団体:茨城交通株式会社

関東ブロック

取組概要

- J2水戸ホーリーホックが「ベトナムのメッシ」ことグエン・コンフォン選手を獲得したことから、ベトナム航空のチャーター便により、コンフォン選手の応援ツアーを企画。「ホームゲーム観戦」および日光東照宮、鬼怒川温泉、水戸偕楽園、東京浅草観光など。
- チャーター便では、ベトナムの主要メディアや旅行会社を対象とした県主催のモニターツアーも実施され、県内観光地の視察や茨城県の観光関係業者との商談会を開催。

評価ポイント

- 茨城とベトナムの定期便呼び込みの一步となっている。
- ベトナムからの農業技能実習生を多く受け入れていることから、観光のみならず農産業等への経済効果も見込まれる。
- プロスポーツチームによる地方創生のモデルとしての展開が期待される。



© J.LEAGUE PHOTOS



04 官民連携で台湾ランナーと新潟文化をつなぐ ～スポーツを通じた交流のかけはし～

申請団体:新潟市文化・スポーツコミッション

北陸・信越ブロック

取組概要

- 「旅の中でマラソンと新潟の文化を体験できること」を目的とした企画商品の造成。台湾からチャーター便を利用し、滞在型マラソンツアーの催行等。チャーターツアー参加者105名。
- スポーツコミッション内に「観光連携」担当を配置し、大会主催者・参加者と観光関連事業者を結び付けるプラットフォームとして、情報発信や手配等を行っている。

評価ポイント

- 市内最大のスポーツイベント「新潟シティマラソン」をはじめとする各種大会イベント参加者に対し、スポーツコミッションが主体となり国内外スポーツツーリストの誘客や地域文化の発信に力を入れている。



05 熊野古道伊勢路を歩く ～伊勢から熊野へ 二大聖地を結ぶ巡礼の道～

申請団体:三重県

中部ブロック

取組概要

- 「熊野古道伊勢路」は様々な景観を眺めながら一年を通してウォーキングが可能。世界遺産登録5周年、10周年時には、170kmの踏破ウォーク等のイベントも実施。平成26年は来訪者が過去最高の43万人に。
- 熊野古道関係者による協働会議において熊野古道の保全と活用に係る活動指針を作成、関係者と連携して、保全・活用及び外国人受入体制整備や周辺環境整備を行っている。

評価ポイント

- 1年を通して世界遺産でのウォーキングを兼ねた観光が可能。
- 歩くためのきっかけづくりとして熊野古道を活用し、誘客につなげている。



06 世界遺産姫路城マラソン

申請団体:兵庫県姫路市

近畿ブロック

取組概要

- 姫路城大天守保存修理事業の完成を記念して始まった。世界遺産姫路城を発着地とし、書写山や塩田温泉郷などの名所、旧跡を巡るコースとなっている。
- ランナー約1万人、来場者数53,000人、沿道応援者数72,000人、経済効果は約11億2千万円。

評価ポイント

- 世界遺産姫路城を核に、地元飲食団体、商店街連合会、自治会など地域が一体となって大会を支援している。
- フルマラソンの他、ファンランの種目を多く設定し、生涯スポーツの振興を図っている。





スポーツ文化ツーリズムアワード2016【10選】

1次選定(入選)結果発表

07 サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」を核としたサイクルツーリズム

申請団体:瀬戸内しまなみ海道振興協議会

中国・四国ブロック

取組概要

- しまなみ海道沿線に点在する文化資源(芸予諸島、尾道水道、四国遍路等)を自転車で巡るサイクルツーリズムの推進。国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」の開催、海外メディア媒体等を活用した国内外へのプロモーション、自転車道通行料金の無料化、広域レンタサイクル制度など。
- しまなみ海道サイクリング来訪者数325,853人。(平成27年度推計値)

評価ポイント

- サイクリングを中心に、ルート上の文化資源を活かしながら、地域活性化、広域連携・広域エリアでの滞在型観光の促進が図られている。
- 世界最大の自転車メーカーや海外メディア等との協力・連携により効果的なプロモーションを実施。



08 あわ阿波おどり2016 ~World Awa Dance Open~

申請団体:WADO実行委員会

中国・四国ブロック

取組概要

- 阿波の名前を冠するもののみならず阿波踊りが盛んであるとは言えなかった阿波市で、Uターン、観光・交流人口の拡大、地域活性化を図るため、「あわ阿波おどり2016」を開催。阿波踊りワークショップや阿波踊りショー、移住交流相談などを実施。
- 同企画後は阿波踊り最大開催地である徳島市へのバスターを出すなど、県内他地域と連携。

評価ポイント

- 県内他地域との連携による徳島市内からの宿泊の分散や、受け入れ可能数の増加により、阿波踊り開催地全体へのインパウンド効果が見込まれる。
- SNSを活用し、多言語による情報発信を積極的に行っている。



09 沖縄海人スピリッツ!! いとまん帆掛(ふーかき)サバ二乗船体験

申請団体:糸満市観光協会

九州・沖縄ブロック

取組概要

- 「海人のまち」と呼ばれる沖縄県糸満市の伝統漁船「サバニ」を活用した乗船体験。小規模旅行としてのコンテンツ活用、教育型旅行商品としての展開、サバニを活用した競漕を行うことでのチームビルディングプログラムの開発やMICE商材としての活用等。
- 宿泊を含む文化体験型旅行商品の造成および糸満市観光協会等での企画販売。

評価ポイント

- 地域固有の文化資源をスポーツと融合させた体験型旅行商品として積極活用しており、地域での観光誘客に向けた取組に期待ができる。





10 日本の伝統文化とスポーツの融合 「和太鼓アクティビティ」!

申請団体:太鼓センター/TAIKO-LAB 京都・青山

その他

取組概要

- 訪日外国人等を対象とした、寺社仏閣境内やスタジオ等での和太鼓の演奏体験と鑑賞を行うアクティビティプログラム。2015年度は関西地区で約2,600人、東京地区で約3,500人の参加実績。
- 旅行代理店各社のツアープログラムに組み入れられ、代理店担当者向けに体験&説明会を定期的で開催。
- 英語でのサイト運営や予約メール受付を行い、海外からも予約可能。

評価ポイント

- 欧米からの訪日客の関心にあわせたツアープログラムの展開や、海外からも予約可能であるなど、インバウンド効果が見込まれる。

